

障がい者への助成制度 合理的配慮措置を

阿部 洋子



問 障害者差別解消法が施行され、合理的配慮は自治体に義務付けられている。しかし、商業者などには努力規定となっている。

先日、車椅子の方と食事に行く際、店舗入口の段差には対応の準備がないことが分かり、自身で持っているスロープを持参して入店した。つくば市や兵庫県明石市では、合理的配慮の提供を支援する助成制度が導入された。当市でも導入を。

市長 合理的配慮や障がい者理解への啓発にもつながる有効な施策と認識し、検討を進める指示をしている。

問 導入時期は。

障害福祉課長 来年度早期実現を目指している。

問 導入に当たり、早期実施と周知はどのように。

想定外の災害にも 対応できる町に

齋藤 久代



問 市の災害廃棄物処理計画は。



取手市地域防災計画

まちづくり振興部長 県では平成29年2月に策定。市は本年度の策定に取り組んでいる。

問 人や物資の受援計画に心のケアも必要。

安全安心対策課長 今後、研究していく計画。その中には医療等の専門機関やボランティアなど定めていく必要がある。

問 市内の防災士資格を有する方の活用は。

総務部長 自主防災会等で活躍している防災士の皆さんと協働し、地域の防災力を向上させていきたい。

問 防災を前提とした都市計画を。

都市計画課長 市都市計画マスタープランの中の都市計画の大きな目標の一つに、治水対策や災害に強い町づくりについて定めている。

【その他の質問】 共同下水道を使用する地域・結婚新生活支援事業

市民に寄り添った 市政運営を

小池 悦子



問 市民や団体が申し入れた地域要望書に対して、一堂に会して懇談会を開いてほしい。

政策推進部長 市政協力員など地域の方の要望書と同じように、要望は受け付けをしてしっかり聞き、回答をしていく。

問 市民に寄り添った対応の政治姿勢を。

広報広聴課長 要望を聞く懇談会をやらないうということも市民参加の町づくりになっていないというのは違う。

市長 丁寧な形で、みんなで作くり上げた市総合計画に基づいて奉仕をするという一貫した姿勢で取り組んでいる。

訪問型家庭教育支援 手厚い支援につなげて

池田 慈



問 訪問型家庭教育支援はどのような支援か。

スポーツ生涯学習課長 保護者の心に対する支援が中心で、悩みや課題を抱えたまま孤立することを防ぐ。福祉施策とは重複しないようにする。

問 福祉施策とどのような

違いの支援を考えているか。

教育部長 基本的な生活習慣や、保護者の子どもに対する教育力の向上など。

問 対象者は。

スポーツ生涯学習課長 一、二校を絞り、小学1年の全戸を対象に考えている。

問 支援チームのメンバーは。

答 小中学校の元教員や民生委員の主任児童委員など経験ある方を考えている。

【その他の質問】 横断歩道白線の整備・提案のサテライト図書館と現取手図書館

健康になる町 アプリでできる取手に

結城 繁



問 ヘルスロードの利用状況は。

健康増進部長 都市計画道路3・4・3号を愛称「とりかん」とし、県のヘルスロードにも認定された。



「とりかめくんの歩測クラブ」では活動量計(左)で歩数を記録。一部の公民館に設置された自動血圧計やウェルネスプラザの体組成計につなぐとデータが転送され、パソコンやスマホなどから自分のデータが確認できます(右)。

健康づくり推進課長 市のイベントや団体等のウォーキングイベントなどにも利用されているが、利用者数などは把握していない。

問 ウォーキングの目標など見える化できることは。

答 10月から「とりかめくんの歩測クラブ」を開始。活動量計という歩数計を用い、公民館などに設置した自動血圧計などのデータと共に蓄積され、スマホなどから自分の状態を確認でき、グループ利用の機能もある。

問 医療と連携した健康づくりプログラムとは。

教育部長 グリーンスポーツセンターと医師会病院が連携した取手メディカルフィットネスプログラムが、昨年10月から開始。

【その他の質問】 アートのある町づくり・市の魅力発信

保育所は地域の 子育て拠点であるべき

加増 充子



問 旧取手一中を解体してのなないろ保育所建設で苦情が寄せられている。寄り添った対応を求め。

福祉部長 騒音・振動規制法を順守も、苦情の訴えにはご自宅に訪問して対応している。より丁寧な施工を

指示し、加えて工期を1カ月以上延ばして土曜日を休工とした他、作業時間中の一時回避所として集会所を開放していただいた。今後

問 地域の子育ての拠点としての保育所の役割を問う。

子育て支援課長 地域への開放など4つの保育所保育指針がある。指針に基づいて、地域の公立保育所の役割を関係機関一体となって構築していきたい。

問 待機児童対策としても保育士の処遇改善を。

答 働きやすさのアンケート結果を受けても、賃金での処遇改善ではなく、園の雰囲気や大事という結果。労働環境の改善などで継続した就労へとつなげたい。

【その他の質問】 西口開発



旧取手第一中学校跡地では体育館を残して校舎が取り壊され、井野なないろ保育所・子育て支援センターを建設中